

学校選択制に関するフォーラムでの主なご意見

- 選択制にしくなくても義務教育なので、十分な教育が受けられるはず。学校の格差があるならそれをなくすべきである。遠くの学校に行かなければならないとか、いじめの問題は文部科学省の規則で対応可能と思う。
- 中学校を選ぶのは、部活や勉強の環境がいいなど子供が選べるという点でいいかなとも思う。一方で、小学校は子どもでなくて親が選ぶことになり、その場合、何を基準に選んでいいのか、親でもわからなくなる恐れがある。
- 東京でも杉並区では廃止、江東区などで縮小というニュースを聞いているが、なぜ今から選択制の議論をするのか。市長は保護者が選べると言っているが、実は選ばれる学校と選ばれない学校を選別するというのではないのか？
また、地域とのかかわりが保護者の責任となると、重い負担を感じる。
- 学校選択について、今のままでは公立は私立のようにには選択できない。各校で民族学級や英語教育などの特色を出すのには相当時間がかかるように思う。何をもとに選択するのか、漠然としている。教育委員会はメリットや特徴を出すためにどうするのか「熟議」のなかで検討願いたい。
- 東成は特に地域と子ども達のつながりが深い地区だと思う。子ども見守り隊も定着した。通学の安全が一番心配だ。
- 保護者が学校選択の権利を付与されるということは当然のことかと思われる。ただ、特定校に集中した場合には抽選もあるということだが、この場合は自由な学校選択が疎外されるということにはならないか？
- 橋下市長の考えが、保護者に選ぶ権利を与えることが目的だというのが、保護者が本当に大切に思っていることは、誰でも楽しく学校に行けること、わかる授業を受けることである。選択制でもって他の学校に行けばいいというものではない。子どもは地域で育つのであり、地域の学校を含め、教育環境を良くするのが大事である。選択制にともなう増改築もしないということであるが、選択制の何がよいかわからない。定員の関係で行けない場合もあるとのことなので、選択制はしない方がよい。子どもは地域で育つもの、教育環境を良くする方がよいのではないか
- 東成区は地域的に穏やかなところである。学校選択制をしても結局は皆さん地元の学校を選ぶのではないか。

- 私は教員としてこの地元の中学校に長年勤めていた。今は他市に住んでいるが、この学校が懐かししく、学校選択制などとはとてもないことだと思っている。学校はかつて(生徒指導の面で)しんどい時期、荒れた時期もあったが、子どもたちや保護者、地域の力で乗り越えてきた。地域が学校を育てる。昭和36年当時は越境入学が多数いた。その後教育委員会や地域の人たちが熱意を持って越境入学を辞めようとした。学校選択制の課題と紹介された部分は、みなデメリットで、東京都区部の破たんした事例もある。選択制で生徒が集中して抽選に漏れた生徒はどんな気持ちになるか考えてほしい。
- 子どもたちとのつながりは地域の方と一緒に作り上げてきている。先生も保護者も一生懸命に特色ある学校づくりに取り組んでいる。選択制を、今する必要があるのか疑問に思う。学校選択制以外のもっと違う道で労力お金を使ってもらいたい。また、通学の遠い子については、現行の制度の中で別途考えてほしい。
- 学校の目的は健全な学びと育ちの場を提供することで、特に義務教育はナショナルミニマムとして、どこの学校に行っても同様な内容となっているかどうか大切。現行の制度の中で、学校教育フォーラムを開かれないのが疑問だ。健全な学びと育ちの場となっているか議論すべきで、学校選択制や中学校給食という2つのテーマで設定するのは疑問。
- 大阪市内には、「隣組」など地域に根付いた組織が住民生活を支えているが、新住民と古くから住む住民との関わりが薄くなっていくなか、選択制を導入すればその溝を一層大きくするのではないか。
- 地域との連携や通学の安全面からも今の校区の方がよい。先に進めてほしいのは少人数学級。支援学校に所属する子どもが、自分の学年としてカウントされないのは差別だ。
- 実施初年度には、新入生以外にも選択できる制度を導入してほしい。
- 教員の人事異動は学校長にある程度権限を渡すべきだ。
- 校区内で顔見知りの子には声をかけることで非行化に歯止めがかかるが、他の校区から来ている子には顔も知らないので心配。
- 学校のアピールとして勝手に定員を減らして、少ない生徒数でアットホームな学校にすることが可能ではないか。

【自由意見】

■学校選択制について

- ・学校選択制を止めた、止める検討をしている自治体の事例も紹介すべき。区民が冷静に判断できるようにメリット、デメリットをもっと示すべき。
- ・学校選択制については、実施してきた自治体が廃止、もしくは廃止を検討していることから、その経過とあわせて紹介すべき。
- ・学校選択制は城東区も含めて選択させてほしい。
- ・質問1（学校選択制）は、区内が前提となっているが、市内で選んでも良いと思う。
- ・学校選択制については基本的に賛成だが、人気のある学校に集中する可能性がある。保護者としては、初年度の傾向が分からないので不安である。
- ・学校選択制について、他都市で2-3割の利用実績があるということは、やはりニーズがあることだと思うので賛成です。選択が可能な制度であるという理解がまだまだできていない方がほとんどだと思うので、もっともっと今後、理解に向けての周知が必要だと思います。
- ・学校選択制にしているところは、学力やスポーツに力を入れているところを選べるところ。悪いところは、現在、地域の町会の方などに子どもたちが守られていると思う。だから、今の地域性・地域の連携というのが無くなるのではないかとと思われる。独立する家庭が出てくるのではないかと？
- ・大阪市長は切磋琢磨し学力の低い生徒の救済をとおっしゃっていますが、そうでしょうか？ ますます学力格差がつき、勉強のできない人、無気力な人が残されるだけでは？ 選択制によるメリットをあげていますが、ほとんどがそのようにいかないと思います。”
- ・小学校は通学路の観点から、選択できることは保護者の安心につながる。荒れている学校に行かせたくないと思う親心を反映できる制度です。公立の中から少しでもいい環境で学ばせたいと思うのは当然です。
- ・選択制を導入するより放課後事業に注力をお願いします。
- ・学校選択制の中に子供の放課後のことも考えてください。学童保育をなくさないでください。”